

令和四年度 修士論文・卒業研究題目一覧

織田政権の地域支配

——大和国を中心に——

小澤 唯

修士論文

卒業研究

日本文学・日本語文化専攻

大池ゼミナール

『二十四の瞳』の受容をめぐって

『蘭亭序』が最高傑作たる所以

——ステレオタイプはどのように形成されたか——

漢字かな交じりの書の可読性

奥村 瑠花

安藤 裕基
清水 香名

勝亦ゼミナール

『鹿鳴』の日中比較

『紫式部日記』における紫式部と女房社会について

——『万葉集』と『文選』を中心に——

碓井 絢子

佐久間 有美

『落窪物語』における結婚

兼近 紗希

『大和物語』八十四段における右近の詠歌

——『拾遺和歌集』『百人一首』との比較から——

久野 有咲

歴史文化専攻

『蜻蛉日記』における町の小路の女について

——厩橋北条氏の政治的展開と御館の乱における

——妻妾の立ち位置をめぐって——

河野 菜摘

甲斐武田氏の動向の検討を通して——

『落窪物語』における鏡の役割

齋藤 恵

田澤 大樹

齋藤 恵

菅原孝標女の「白」の色彩表現

—「更級日記」を中心に—

酒井 雅

『蜻蛉日記』における天候描写について

佐藤 楓

『源氏物語』における明石姫君論

—「藤」との関わりから—

鈴木 春野

『落窪物語』における三郎君の役割

土田 楓花

『伊勢物語』第二十四段における「月」の解釈

中村 美咲

『夜の寢覚』中の君考

—冒頭部分の展開と他者の視点から—

福寄 陽香

『竹取物語』における「月」

松本 明

後藤セミナール

「鳥肌が立つ」の使用実態について

—類義表現「さぶいぼ」「肌が粟立つ」との

相違点と関係性— 安部 栞奈

熟語・慣用表現から見る色のイメージについて

井澤 華乃

「しんどい」の意味・用法について

—「つらい」との比較を中心に— 上原 美咲

お笑い芸人の芸名についての研究

オノマトペ「わくわく」の意味・用法について

—「どきどき」「つきつき」との比較から—

桑原 あまな

ポケモンのネーミングについての考察

コーパスを利用した類義語調査

—「のんびり」と「ゆったり」の差—

杉原 知紗

『微妙』の意味変化についての研究

二葉亭四迷の書簡文における文体差と

言文一致運動の関わり

語種の異なる類義語についての考察

—「機会」と「チャンス」の場合—

須原 奈央

田淵 哲也

原田 優美

藤澤 美穂

レシビサイト「クラシル」におけるプラスイメージを持つ

食感オノマトペの使用実態

——「クックパッド」との対比—— 松 森 美 紅

「したたか」の意味変化についての研究 水 野 しおり

酒井ゼミナール

独歩と芥川の鉄道描写から読み取れるもの

——「窮死」と「歯車」を通して—— 恩 田 十 和

「人でなし」との恋

——土蔵から六畳間—— 川 上 陽 菜 乃

『ホーキーベカコン』における春琴火傷事件と

『春琴抄』を青年漫画として描くという試みについて

——『春琴抄』の映画化作品と比較して——

佐 藤 梨 南

秘密の花園「エス」

——吉屋信子・「花物語」・女学生—— 谷 奏 乃

『赤い月』に描かれた日本から牡丹江への道のり

——勇太郎一家の旅路を追体験する——

谷 口 翼

『孤島の鬼』に見る江戸川乱歩の同性愛表現

富 井 步 未

『二十四の瞳』における大石先生の

子どもたちへの向き合い方 平 木 里 咲

徳竹ゼミナール

物語における安倍氏と清原氏

——『陸奥話記』と『今昔物語集』巻第二十五

『源頼義朝臣罰安倍貞任等語第十三』等の

比較から—— 二 宮 由 樹

「中将姫由来略縁起」と「当麻寺略縁起」本文の成立背景

堀 礼 音

中川ゼミナール

豊橋市立図書館を通じた遠隔地へのサービスの在り方

佐 原 規 高

豊田市中央図書館における

積極的な文庫購入についての研究 百 合 野 ひ なた

福井ゼミナール

比喩としての翁まる

——平安時代の犬イメージとともに——

川 地 日 鞠

志怪伝奇における輪廻転生

——家畜動物を中心に——

山 内 優 華

末摘花にみる女性観

——六条御息所との比較——

渡 辺 涼 介

源氏物語の「夢」

——移りゆく時代の儂い希望——

広 瀬 瑞 稀

平塚ゼミナール

西三河方言における命令表現の使用範囲 佐々木 優 里

新選組を題材にした小説における登場人物の言語的特徴

清 水 佳 乃

バーチャルYouTuberが用いるキャラ語尾の特徴

宮 原 伶 於

岐阜県方言の推量・確認要求表現 山 本 和 実

人工知能によるボーカロイドP「DECO*27」における

歌詞の特性

井 川 友 希

役割語から想像される発話キャラクタについて

伊 藤 沙 弥

スポーツ漫画のオノマトペ

北 岡 美 遥

短い発話における役割語

——ゲーム『ゼルダの伝説 ブレスオブザワイルド』

を例に——

田 中 美 佑

名古屋市内における多言語表記・やさしい日本語について

中 村 志 帆

三河方言における「だら」等の使用について

古 澤 里 菜

異なる社会的立場における人物の言語的特徴

村 瀬 志 帆 子

Twitterで使用される新語の特徴と役割

山 本 実 幸

広瀬ゼミナール

中田敦彦の人気

安 藤 怜 南

映画『塔の上のラプンツェル』にみる

新たな悪役像と特殊な親子関係 梅村 菜月

『A3!』のライブ展開からみるキャラクターの再現

池内 七海

西嶋ゼミナール

宝塚歌劇版『壬生義士伝』と原作との比較

大島 優

映像技術を活用したメディア教育の提案

—— 高校情報教育過渡期の新たな支援 ——

『君の名は。』からみるコラボレーションCMの存在意義

高木 麻里

尾関 優歌

漫画家・種村有菜作品のコラボイベントにおける特異性

田中 直

刈谷市・知立市における公立高校の広報活動の提案

松原 久美

パクリの線引について

—— パクリ作品と批評された

『魔女の守り人』を読み解く—— 中村 緋隆

阿佐ヶ谷姉妹と自己肯定感 平山 歩実

大森 夕菜

クトゥルフ神話「RPG」における描写について

松葉 千太郎

アニメ・ドラマタイトルにおける略称の傾向と有用性

菊田 悠真

YOASOBI『あの夢をなぞって』と

その原作小説『夢の雪と月の花』の比較研究

横山 祥子

スターバックス「コーヒー」と比較した

大学生対象の「メダ珈琲店」の新しい在り方の提案

—— 愛知県八事を例に —— 近藤 瑠美果

東海地方における滞在型図書館の実態の調査及び

照明の調査から図書館としての在り方を問い直す

——岐阜市立中央図書館を主として——

高山 紗希

世代間交流を活発化するイベントの提案

——高齢者と小学生のラジオ番組制作——

谷井 咲苗

ゲームフィクションを利用した

岡崎市商店街活性化に向けた具体的提案と考察

土居 聖良

金融業界における好印象な選択制企業制服の導入について

——学校制服や実例をもとに—— 内藤 優理花

押し活を利用したチップ制度の提案

——押し活による消費行動に着目して——

伴 映里佳

大学生に向けたメディア・リテラシー教育の提案

——ルッキズム問題に着目して—— 深谷 美月

容姿コンプレックスにおける顔出ししない

ファッション投稿サイトの有効性 松尾 侑香

放送局による小学校メディア・リテラシー実践教育

——動画制作を通して発信者としての

メディア・リテラシーを学ぶ—— 横井 百花

一宮市のマーケティング戦略改善の提案

——子育て支援の観点にフォーカスして——

横幕 玉羽

宮内ゼミナール

笑いを表現するネットスラングの用法について

栗田 朋枝

小説作品に観る おネエことば

——女性キャラとの比較を通して—— 間崎 彩名

小学校国語教科書掲載の一人称小説における

文末表現・接続表現の特徴について 岩田 光央

断り表現「いい」の発生経緯について 鷓 飼 悠太

歌い手「まぶまぶ」の歌詞特徴 岡田 紗歩

食レポの表現方法について

——人気グルメリポーターの共通点——

黒田 彩未

語彙分析を用いた近年の楽曲歌詞分析調査

— 新型コロナウイルス流行をふまえて —

小林 香澄

ジャーニーズアイドルグループの歌詞変遷

— 昭和・平成・令和を比較して —

笹本 佑美

漢語動詞に見られる二格・ヲ格交替現象の実態調査と考察

— 勝敗の対象を中心に — 新 兼太

ラノベとマンガの言語表現比較

— 女性キャラクターの属性表現について —

玉田 理子

疑問符の使用に関する媒体別調査

田村 葵

小学校国語教科書にみられる役割語の特徴分析

中島 綾奈

「ら抜きことば」の実態と意識調査

中根 知哉

感謝・謝罪表現のバリエーションと表現性

牧野 ひなの

Twitterにおける「無理」のプラス用法と

マイナス用法の使用実態について 松井 美優風

「る言葉」の認知度について

— 年代別アンケート調査による — 山下 星奈

宮澤ゼミナール

漫才と比較した『化物語(上)』における

『ボケ』と『ツッコミ』の表現効果 中村 朱里

オンラインコミュニケーションツール Vchat、Discord

の比較から見る、仮想空間の要素が

コミュニケーションに及ぼす影響について

久野 翔馬

スキンケアにおける触覚を表すオノマトペ表現

今村 紗理

「慰め・励まし」を目的とした談話の事例研究

川端 彩乃

「LINE」によるリアルタイム会話終結の研究

木河 紘平

「おかあさんといっしょ」内の人形劇における

音象徴と視覚イメージの相関 巽 麻結

「父母」を詠う防人歌の形成における

「孝」の論理と改作について

立っている絵文字の使用と実態

雑談における重複とターンの移行について

Twitterにおけるハッシュタグの使用傾向の分析

日本流行歌の歌詞における二重表記の使用状況と変化

LINEと対話におけるフィラーの使用状況の違い

LINEの特徴と依頼表現にみられる

消極的フェイスの侵害との関係性

LINEにおける勧誘の断りの特徴

少女漫画におけるSNSの使用と役割

柳沢ゼミナール

『蛤の草紙』本文考

『菊花の約』の菊が意味するもの

『曾根崎心中』の原作と現行床本

『壇浦兜軍記』についての考察

——『出世景清』と比較して——

井原西鶴の遊女観

——『好色一代男』と『諸艶大鑑』を中心に——

『源氏物語』が『吉備津の釜』に与えた影響

——他の典拠との比較を交えて—— 小酒井 菜那

『民用晴雨便覧』にみる中西敬房の天気の予測方法と

摂陽に吹く風について 小島 しえる

『太平百物語』にみる異類婚 高橋 未来音

『箱入娘面屋人魚』の登場人物とモチーフについて

——人魚を中心に—— 竹内 里沙

『死霊解脱物語聞書』から『法懸松成田利剣』へ

——登場人物の比較を中心に—— 内藤 汐海

芭蕉と俳諧

——『旅寝論』『去来抄』『三冊子』を中心に——

『助六』のいま 中村 紅音

池田 萌子 藤田 夏花

泉山 果凜

板谷 莉杏

川根 怜奈

小酒井 菜那

小島 しえる

高橋 未来音

竹内 里沙

内藤 汐海

中村 紅音

藤田 夏花

『百人女郎品定』における模様について

——『正徳ひな形』と比較して—— 山北 深月

江戸時代資料に見る東海道赤坂宿 山田 麻衣子

小川ゼミナール

小野篁像の変遷を探る

——往来物を中心に—— 大熊 彩 愛

優生学と障害者

——精神障害を中心に—— 太田 弥 吹

江戸時代における女髪型とその変遷についての考察

——美容指南書を中心に—— 小林 美 友

鎖国下における日本とロシア

——ゴロウニンが見た日本—— 佐々 天 音

近世初期・豊後における伊勢信仰とキリスト教

——キリシタン大名・大友宗麟と

その家臣団を中心に—— 柴 田 紗 和

小池ゼミナール

『山姥切国広』の作刀と『本作長義』の銘入れ背景の考察

——館林長尾氏と小田原北条氏の関係性から——

西 晴 香

中世寺院社会における稚児の存在

真宗教団と有徳人

芸能と買売春からみる中世「遊女」の姿 河 辺 明 日 美

菅原道真にみる中世における怨霊と鎮魂の歴史

久保田 帆 南

王権の神話と出雲の特殊性

絵巻物に見る寝殿造から書院造の変遷

『日本書紀』垂仁紀における埴輪伝承の考察

竹 内 萌 恵

蒙古襲来における暴風の実態と神風思想

中世における伊勢神宮と信仰の拡がり 宮 村 栞 理

平安時代の正妻と側室

——『源氏物語』の「紫の上」を事例に——

武 藤 静 夏

祈年祭班幣制度と実態

森 島 啓 太

古代・中世の人々の方角禁忌の認識

山田 瑞稀

若者が集う門前町

——千代保稻荷・月越参りを中心に——

小早川ゼミナール

高原 言奈

ネットコミュニティの「大衆」化

競艇場の民俗

——仮想空間におけるコミュニティ形成を中心に——

——常滑競艇を中心に——

竹内 颯汰

竹谷 一眞

ネットロアの衰退

団地の民俗

——掲示板から動画への変化と影響——

——豊田市・伊保原団地を事例として——

田中 大貴

澤田 知里

人形送り考

岐阜県輪之内町「ぞうすい祭」について

入山 美穂

——民俗社会における排除の理論——

畑 裕貴

国府宮はだか祭りにおける大鏡餅

熊崎 愛唯

女人禁制の変化と現状

祭りの存続についての検討

——桑名石取祭を中心として——

福井 翔太

——烏森神社お湯立て祭りを事例として——

白根ゼミナール

人生儀礼と写真館

坂岡 すす寧

近世武家社会における刀剣と刀工

地域社会における農村歌舞伎の役割

志村 幸穂

——島津家を事例に——

井手上 郁弥

——三河地域を中心に——

鈴木 陽介

『孝子伝』にみる表彰者の特色と農村社会

上田 暖

幕末京都における新選組の活動と特質

——池田屋事件・禁門の変を中心に——

大西 彩夏

江戸周辺地域における講中の特色と伊勢参宮

大西 啓太

言行録にみる松平信明の明君像

大村 卓緒

古川古松軒の紀行文にみる批判的精神

——『西遊雜記』『東遊雜記』を中心に——

近藤 涼香

江戸幕府の関所改めと女性

——今切関所を事例に——

島野 佑真

国持大名の家格と婚姻

——佐竹家を事例に——

下地 彩音

幕末政局における高杉晋作の「大業」

中島 柚奈

慶長期における公儀普請の様相と幕藩関係

——名古屋城普請を中心に——

林 美吟

月岡芳年が描いた幕末維新

——「桜田門外の変」・「戊辰戦争」を中心に——

林 百香

宝暦改暦をめぐる朝幕関係と土御門家 平井 仁貴

幕末における訪日外国人が見た日本

——オランダ商人デ・コーニングを事例に——

平林 由衣

近世大名家における正室・側室の格式と葬送儀礼

——島津家を中心に——

前田 紗奈

江戸中・後期における大名家の婚姻政策

——上杉家を事例に——

水谷 奈々世

中元ゼミナール

後藤新平と台湾における阿片事業・糖業の展開

青嶋 雅光

「新日本建設に関する詔書」と朝日・読売新聞社の

報道姿勢

石田 達也

戦前における受験生と受験雑誌

昭和戦前・戦後における合唱とその変遷

伊藤 泰輝

——合唱団体・指導者・メディアを中心に——

小谷 都日

日露戦争期におけるロシア人捕虜への

行政・報道・民間の対応

——名古屋の新聞報道を中心に—— 小林 加奈

田中耕太郎と自然法

——「教育勅語」から教育基本法への道——

後藤 伊吹

明治時代における観艦式に対する天皇・皇族の意図

——慶応四年・明治三十三年・明治三十八年の

観艦式を比較して—— 高橋 英聖

豊田市における交通安全対策

——都市交通問題と交通安全計画—— 高橋 瞭

戦前・戦後における名古屋の都市計画

——石川栄耀と田淵寿郎を中心に—— 田口 舜也

戦前における吉田茂の外交構想

——松坂屋の広告戦略と女性店員の活躍

——三越との比較を中心に—— 西井 詩織

働く近代女性の実像

——「職業婦人」・「労働婦人」を中心に——

平石 七海

大学自治と警察の警備情報収集活動

——名古屋公安スバイ事件を中心に——

古木 龍太郎

村野山人と京都における乃木神社の創建

戦後における伊勢修学旅行の「復活」とその背景

森 翔太

庄林一正と愛親社

——国民協会加入以降を中心に—— 山下 五路八

播磨ゼミナール

織豊期の権力者と堺商人の動向

——千利休の政治参入—— 二村 泰隆

本願寺と織田政権

——石山合戦講和を中心に—— 伊東 竜之介

織田信長・羽柴秀吉の対毛利氏外交

織豊期の料理について 須崎 愛美

「京都退去」後の足利義昭の影響力

——帰洛要請文書を中心に—— 高 絢一郎

信長・秀吉の北伊勢侵攻 中西 律

中世の桑名像

丹羽 かのん

文書・記録から見る関白秀次と太閤秀吉の関係性

日比野 武尊

豊臣政権における織田信雄の役割

松浦 楽

豊臣政権の奥羽仕置における石田三成について

松田 朋子